

平成 29 年度 S S H 講演会・S S H 成果報告会実施要項

平成 29 年 9 月 25 日
北海道岩見沢農業高等学校研究開発部

1 目 的

- (1) S S H 講演会：道内外から研究者や技術者を招聘し、科学者を志したきっかけや発見・発明につながった経緯などを含め、最先端の科学技術等に関する講演を行うことにより、生徒の創造性・独創性を高めるとともに、農業科学や科学技術を学ぶモチベーションを高める。
- (2) S S H 成果報告会：S S H 事業で実施した研修および研究の成果をまとめて報告することにより、評価反省を行い S S H 学習に活かす。

2 開催期日 11月6日(月) 09:00~12:30

3 場 所 本校体育館

4 演 題 オホーツク海・親潮の海洋生態系を支えるアムール川
～アムール川流域の陸面変化が海洋生態系に与える影響の評価

5 講 師 北海道大学 低温科学研究所
環オホーツク観測研究センター 准教授 博士(環境科学) 白岩孝行 氏

6 対 象 全校生徒、教職員、市内中学高校教員、S S H 指定高校、保護者

7 時 程

| 時 間 | S S 講演会 | S S H 成果報告会 (生徒の動きを含む) |
|-------------|-----------|---------------------------|
| 8:45~9:00 | 講師打合せ | 生徒移動 (一般受付 8:40~10:30) |
| 8:55~ | 講師・来賓入場 | |
| 9:00~9:15 | | 開会(校長挨拶、研究開発部長説明) |
| 9:15~10:05 | — | SSH 成果報告会 |
| ①9:15-9:30 | — | ①道内研修(1年) |
| ②9:30-9:50 | — | ②海外研修(3年) |
| ③9:50-10:05 | — | ③「SS 理科」研究成果(3年) |
| 10:05~10:15 | — | 指導講評 |
| 10:15~10:25 | | 休憩 |
| 10:25~10:30 | 校長挨拶・講師紹介 | |
| 10:30~12:00 | 講演(90分) | |
| 12:00~12:10 | 質疑応答(10分) | |
| 12:10~12:20 | 生徒謝辞 | 閉会(校長挨拶) |
| 12:20~ | 講師・来賓退場 | 生徒移動 |
| 12:30~ | 講師打合せ(昼食) | |

8 交通費および謝礼
J S T 規程の金額を、ご指定の個人口座に入金する。

9 その 他

- (1) 本校で用意するもの マイク、ビデオプロジェクター、スクリーン
- (2) 実物の展示・T A (大学院生) も可能。

10 今年度の S S H 講演テーマのねらい

- (1) 農業や環境、自然科学に関する技術や知識について理解する。
- (2) 探究活動(S S 課題研究、S S 理科)や進路実現の一助とする。
※「課題研究」の研究や理科実験等において、さらに科学的で充実した研究を行えるようにしたい。また、生徒向けの話しだけでなく、教員における授業や指導の工夫等についての参考にしたい。
- (3) 農業技術や農業経営、農業環境、自然科学に関する将来展望について。